

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		桐ヶ谷	64122	

事業の概要											
事業の概要		(1) 市民の提案を基に、市民と協働で地域の課題を解決する。 (2) 市民から事業提案を募集し、その提案の中で優れたものを選定し、その事業を提案者(市民)自らが区と協働して執行する。 (3) 事業選定に当たっては、高津区市民提案型協働事業審査委員会による審査を行う。									
実施期間		事業開始年度 平成18年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域課題対応その他事業費			
地域の課題と現状		地域の課題が多様化する中で、すべての区民ニーズに行政がきめ細かに対応することは困難な状況にある。一方で、地域においては市民による公共的な活動が行われている。市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、課題の解決やサービスを提供していくことが必要である。									
予決算 (単位:千円)	年度 財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		事業費	1,287	236	3,345	259	3,270	2,961			
		国庫支出金									
		市債 その他特材 一般財源									
		1,287	236	3,345	259	3,270	2,961				

計画 (Plan)	
事業の目的	市民の生活者としての視点・発想を活かし、相互に連携・協力し、地域課題の解決やサービス提供をしていく。
今年度の事業の取組内容	(1) 令和3年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が決定する。 (2) 令和2年度実施事業(6事業)について、中間ヒアリングや報告会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行う。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		(1) 令和3年度事業の選定にあたっては、公開プレゼンテーションを2日間で開催し、審査委員会の選考結果を基に、最終的に区長が4事業を選定した。 (2) 令和2年度実施事業を6事業実施し、中間ヒアリングや相談会などを通して所管課とともに事業の執行管理を行った。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	公開プレゼンテーションの開催	目標	1	1	1			回
				実績	1	1	1			
	2	活動指標	審査委員会の開催	目標	2	2	2			回
				実績	2	2	2			
				目標						
			実績							
			目標							

評価 (Check)					
事業を取り巻く社会環境の変化		地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。			
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)			
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直しした履歴も記載できる場合は記載		R2実施事業へのフォロー体制の見直しにあたり、オンラインで相談・交流会を行った。 ※R1…関係規定の改正を行い、新規参入団体の育成等の観点から募集の新部門を設けるとともに、実施主体の要件等の見直しを行った。			
評価項目				評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか			a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由			地域課題のすべてに行政が対応することは難しく、多様な主体との協働や連携した取組の重要性が増している。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか			a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由			令和3年度実施事業にあたっては、予算を上回る7事業の応募(選定は予算の枠内で6事業、1団体審査委員会前に辞退)があり、事業を見直した成果も出ている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか			a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由			事業評価については、次年度の事業をより効果的なものとするため、中間報告の体制を変更するなど内容や仕組みを改善する必要がある。。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	来年度も事業提案を引き続き募集・選定するとともに、事業評価をより効果的に実施していくための検討を行う。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(みんな集まれ!高津でDance!)			
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		永田	64352	

事業の概要											
事業の概要		ダンスを通じて障害の有無に参加者が共に楽しみ、交流し、お互いに理解を深める機会を提供することでノーマライゼーションへの理解促進を図ることを目的として、ダンスイベントを開催する。									
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費					
		令和2年度	令和2年度								
地域の課題と現状		人口増加に伴い、多様な人々が生活する中で、地域のノーマライゼーションへの理解はまだ十分とは言えない状況であるため、障害の有無に関わらず誰もが気軽に参加できるダンスイベントを通じて、お互いの理解を深め、心のバリアフリーの推進につなげる必要がある。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
						予算額		決算額			
						264		264			
		財源内訳	事業費								
			国庫支出金								
市債 その他特材 一般財源					264		264				

計画 (Plan)	
事業の目的	ダンスを通じて障害の有無に参加者が共に楽しみ、交流し、お互いに理解を深める機会を提供することでノーマライゼーションへの理解促進を図る。
今年度の事業の取組内容	ダンスイベントの開催(オンラインレッスンを含む)、オリジナルダンス基礎トレーニング動画の配信。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		(1)ダンス教室(みんな集まれ!高津でDance!) (2)オリジナルダンス基礎トレーニング動画の配信								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	ダンス教室実施回数	目標	/	/	27			回
				実績	/	/	27			
	2	成果指標	ダンス教室参加人数	目標	/	/	405			人
				実績	/	/	239			
				目標						
				実績						
			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域包括ケアシステムや障害者差別解消法の施行により、障害の有無に関わらず、誰もがお互いを認め合い交流できる場の提供が必要となっている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	かわさきパラムーブメントの推進により、心のバリアフリーを目指した事業への関心やニーズは高まっている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症に係る緊急事態宣言の発令などに伴い、参加人数は減少したが、様々な広報手段による広報により一定数の参加者を得ることができた。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	委託先との協議を行い、役割分担の見直しや事業の効率化などについて改善の可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 当該年度のみ採択事業であり、事業は終了となるが、心のバリアフリーを目指した事業への関心は高まっていることから、必要に応じて連携していく。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(青空かみしばい&和物大道芸 in たかつ)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671700		まちづくり推進部地域振興課		仁	64355	

事業の概要									
事業の概要		高津区役所主催のイベントで、現代の街頭紙芝居及び和物文化の大道芸を実施する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和2年度	—						
地域の課題と現状		高津区は子供の人口が比較的多い割には、おもに溝の口駅近隣エリアは地方から出てきたマンションで暮らす子育て世帯が多く、母親の子育てならぬ孤育ての問題を抱えている。また一方で老朽化したマンションや戸建てには独居老人の孤立化も進みつつある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費				予算額	決算額	予算額	決算額
		国庫支出金				300	203		
		市債 その他特材 一般財源				300	203		

計画 (Plan)	
事業の目的	地域住民相互のつながりの希薄化が進む中で、多世代が参加できる場が重要視されている。そこで、現代の街頭紙芝居及び継承者が少なくなっている和物文化の大道芸を、高津区役所主催のイベントで実施することにより、子育て世代からシニア世代までの多世代が交流できる場をつくり、新たなつながりを生み出すとともに地域活性化を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	定期的に行われる「高津さんの市」や区の主催イベントに合わせて同時に「青空かみしばい」という地域住民とプロ紙芝居師とによる紙芝居セッションを開催する。紙芝居は障がいのあるなし、外国籍など、あらゆる違いを超え自己表現できることから、観客は演者の個性を知り親しみをもち、あらたなつながりを生み出す。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		新型コロナウイルスの影響により当初、参加を予定していた全4回のイベントが全て中止となってしまった。その様な中でも東京都へプレンアーティストガイドラインに沿い、万全の対策を取った上で二子の渡し、高津せせらぎプレーパークなどに参加した。パフォーマンスを行うことでイベントの参加者が笑顔になるところを見るとイベントの必要性を感じた。またコロナ渦でのイベントごとにソーシャルディスタンス等の対策を考えてイベントを実施しなくてはならない等、イベント開催の難しさも同時に知った。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	参加イベント全4回の来場者数	目標				800		人
			実績				500		
				目標					
				実績					
				目標					
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響により人と人とのかかわりが希薄になりつつある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和3年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	多世代を結びつけるという点でニーズはあると考えている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	全2回の開催にも関わらず、目標の半数以上の成果を上げているため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	イベントの開催後に都度、反省会を実施することにより問題点を解決しているため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	I	本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものがあるが、令和3年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。紙芝居及び和物大道芸は多世代を結びつける重要なツールであり、その内容によって様々な方の興味・関心を引くことができるコンテンツである。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小	市民提案型協働事業「高津せせらぎプレーパークプロジェクト」			
11	01	05	26	40	05				
担 当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域みまもり支援センター地域ケア推進課		大橋	64813	

事業の概要										
事業の概要		多摩川河川敷のせせらぎと親子広場で、子どもが思い切り遊べる場や多摩川の自然に親しめる場などをつくることを目的にプレーパークづくりを行い、大人が子どもを見守ることでそれらの場を創出する。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業費					
		令和2年度	令和2年度							
地域の課題と現状		子どもの健全な成長には自由に思い切り遊べる場が必要だが区内には広い公園などが少なく、また、地域に多摩川という魅力ある自然があるものの水難事故の危険から子どもたちだけで自由に親しむ機会が少ない。								
予決算 (単位:千円)	年度 財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
						予算額	決算額	予算額	決算額	
		事業費				300		299		
		国庫支出金								
		市債								
その他特財										
一般財源					300		299			

計画 (Plan)	
事業の目的	子どもが思い切り遊べる場や多摩川の自然に親しめる場などをつくること。
今年度の事業の取組内容	概ね1か月に1回程度(年6回程度)、多摩川河川敷のせせらぎと親子広場でプレーパークを実施する。

実施結果 (Do)								
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> プレーパークを5回開催(8月2日:参加340人、9月13日:参加206人、10月11日:参加102人、11月13日:参加159人、12月13日:121人) 水辺で自然観察イベントを1回開催(8月30日:参加:61人) 							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指 標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	プレーパーク等の開催回数	目標	実績	6		回
						6		
	2			目標	実績			回
				目標	実績			
				目標	実績			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	少子化が進む中、地域全体で子育てを支援する体制の構築が必要である。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て支援の一環として、子どもの居場所づくりも必要である。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	6~12月の間に毎月開催できただけでなく、毎回定員を超える参加があった。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	本事業は市民提案型協働事業であるため、提案団体との役割分担の見直しなどを行い、改善を進めていく。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものがあるが、令和3年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。ただし、市民提案型協働事業は、同一事業で3年を超えるものは提案できないので、それ以降の展開を視野に入れつつ見直し・改善を行う。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	《川崎市地域文化財》乙女文楽で地域への愛着と交流を生み出すプロジェクト			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675110		地域ケア推進課		吉田	64814	

事業の概要									
事業の概要		川崎市で誕生したひとみ座乙女文楽は地元での伝承芸能に力を入れている。市民に根付いた伝統芸能のなることを目的として、小学校でのワークショップの開催や地域の馴染みのある場所での交流公演を開催することで、多世代交流の場を広げ、地元への愛着や誇りも持ってもらうことを進めている。							
実施期間		事業開始年度 令和2年度		事業終了年度		予算中事業		地域課題対応その他事業費	
地域の課題と現状		高津区内では転入者が増加に伴い区内の人口が増加していることにより、新旧住民の乖離等が懸念されている。地域で伝承されている地域芸能を通じて多世代交流の場を広めることにより、地元への愛着と誇りを持ってもらう。							
予決算 (単位:千円)	年度 財源内訳	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費				予算額		決算額	
		国庫支出金				926		926	
		市債 その他特材 一般財源				926		926	

計画 (Plan)	
事業の目的	長年高津区に住む高齢者をはじめとする区民と、転入者とその子どもたちなど区民が川崎市地域文化財「乙女文楽」の交流公演等を通じて地元への愛着と誇りを持ってもらう
今年度の事業の取組内容	小学校でのワークショップ、高津区内での地域施設での交流公演の開催。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		小学校でのワークショップ開催(坂戸小学校、高津小学校、梶ヶ谷小学校 下作延小学校) 交流公演(プラザ橋、高津区役所)								
数値で把握することが可能な取組	指標分類		指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	小学校でのワークショップ	目標			8回			回
				実績			8回			
	2	活動指標	地域施設での交流公演	目標			3回			回
				実績			3回			
				目標						
			実績							
			目標							
			実績							

評価 (Check)									
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の転入者の増加に伴い、新旧住民の乖離が懸念される。子ども、高齢者を始め多く区民が共に交流を深める機会が求められている。							
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和3年度から)		具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載					
		目的達成に添った公演内容の工夫など、参加者の心に残る公演の開催。							
評価項目						評価			
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか					a. 薄れていない b. 薄れている		a	
	評価の理由		身近な地域芸能に触れる機会は有効である。						
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか					a. 上がっている b. 上がっていない		a	
	評価の理由		川崎市地域文化財である「乙女文楽」に初めて触れる区民が多く、地元への興味・愛着を持つきっかけとなったと考えられる。						
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はある。					a. 可能性はない b. 可能性はある		b	
	評価の理由		より身近な地域施設での開催を進め、伝統芸能を通じての世代交流をさらに深めることができる公演内容などの検討を進めなど、地域での公演が継続的に定着していく必要がある。						

改善 (Action)									
今後の事業の方向性		方向性区分			方向性		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
		I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了			II		本事業は市民提案型協働事業であるため市民団体からの提案を受けて実施するものがあるが、令和3年度も提案があり、採択されたため、引き続き実施する。 継続実施をしていくことにより、多くの区民へ伝統芸能を伝えていくことやより身近な地域施設での公演開催することで、継続公演の実現。伝統芸能を通じての多世代交流や地元への愛着と誇り感じてもらうことで、地元愛を育てていく。		

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	高津区市民提案型協働事業費(溝の口減災ガールズのワークショップガイドBook事業)			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			670000		危機管理担当		牛若	64353	

事業の概要									
事業の概要		防災・減災をテーマに、年齢や性別に関係なく楽しく学ぶことができる市民発のガイドブックを作成するとともに、当該ガイドブックを活用した防災・減災に係るワークショップや講演会を開催することにより、災害時における区民の自助・共助力を高め、地域防災力を向上させる。							
実施期間		事業開始年度 令和2年度		事業終了年度 令和2年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業	
地域の課題と現状		令和元年東日本台風を経験したことにより、住民の防災・減災意識はこれまで以上に高まりつつある一方で、防災・減災活動について具体的な行動につながっていない状況であるため、ノウハウを共有化することにより具体的な行動につなげる必要がある。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費					908	908	0	
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源					908	908	0	

計画 (Plan)	
事業の目的	防災・減災活動のノウハウを共有化し、地域にあった防災・減災活動につなげることにより、災害時における区民の自助・共助力を高め、地域防災力の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	防災・減災をテーマに、年齢や性別に関係なく楽しく学ぶことができる市民発のガイドブックを作成するとともに、当該ガイドブックを活用した防災・減災に係るワークショップや講演会を開催する。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		・減災ワークショップガイドBookを作成し、区役所窓口等で配布するほか、区役所ホームページに内容を掲載。 ・オンラインワークショップ「1日減災DAY」を3回(ハザードマップ(6人参加)、ポリ袋クッキング(6人参加)、災害時トイレ(7人))に分けて開催。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	ワークショップ又は講演会	目標			3		回
				実績			3		
	2	活動指標	ガイドブックの作成	目標			1,000		冊
				実績			1,000		
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		東日本大震災や熊本地震などの大震災や、東日本台風等による豪雨災害を受け、災害時における区民の自助・共助力を高め、地域防災力の向上につなげる取組を推進する必要がある。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	昨今の自然災害の発生状況を受け、防災全体に対するニーズは高まっていると考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	ガイドブックの作成・配布等による啓発や、オンラインワークショップの取組状況から一定の成果があったと考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	当該年度のみ採択事業であるため。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III 災害時における区民の自助・共助力を高め、地域防災力の強化を図る取り組みを進めていく必要はあるが、当該年度のみ採択事業であるため終了とする。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	05	新時代の家族のかたち『特別養子縁組』コミュニティを、高津区から			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			675130		地域支援課		島田	64842	

事業の概要									
事業の概要		養子縁組親子同士のつながりの場としてサロンの実施							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		令和2年度	令和2年度						
地域の課題と現状		特別養子縁組親子は年々増加しており、今後も増加が見込まれる。縁組親子ならではの悩みや問題を気軽に共有し、相談できる場が必要。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		事業費				予算額	決算額	予算額	決算額
		国庫支出金				198			
		市債							
財源内訳		その他特材							
		一般財源				198			

計画 (Plan)	
事業の目的	今後増加が見込まれる特別養子縁組親子が抱える、縁組親子ならではの悩みや問題を共有できるコミュニティのきっかけづくり
今年度の事業の取組内容	養子縁組親子同士のつながりの場としてサロンの実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		サロンを3回実施し、参加者は延べ15名。各回、新規参加、継続参加のメンバーがおり、当事者同士自由に情報交換、悩みの共有・相談ができた。4回目については緊急事態宣言発出のため中止とした。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	サロンを4回実施する	目標			4		回
				実績			3		
	2			目標					回
				実績					
				目標					
実績									

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		多様な家族関係が増えてはいるが、まだまだ当事者同士がつながり共有できる場は少ないため、今後もニーズはあると思われる。また縁組家庭であることを公表していない場合も多く、行政が関わることで安心して参加してもらおうことができると思われる。		
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)		
<small>具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>				
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	多様な家族関係が増えている中、つながりの場のニーズは高まっていくと思われる。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	当事者同士のつながり作りのきっかけを作ることができた。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある		a
	評価の理由	当該年度のみ採択事業であるため。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	当該年度のみ採択事業であるため終了とする。なお、提案団体は、今後、市全体の取組としての展開を検討。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	15	高津区地域課題対応事業外部評価事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		桐ヶ谷	64122	

事業の概要											
事業の概要		高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部評価委員(学識経験者)による外部の視点を加えた評価を行うことで、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図る。									
実施期間		事業開始年度 平成18年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域課題対応その他事業費			
地域の課題と現状		地域課題対応事業について、外部の視点による評価を行い、より効果的・効率的に事業を実施し、地域の課題解決を図っていく必要がある。									
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度			
		予算額		決算額		予算額		決算額			
		事業費		1,032		1,031		1,043		839	
		財源内訳		1,032		1,031		1,043		839	
		国庫支出金									
		市債									
		その他特財									
		一般財源		1,032		1,031		1,043			
				839		655		359			

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区地域課題対応事業の執行にあたり、外部の視点を加えた評価を行うことにより、より区民のニーズを反映し、市民協働、職員の意識改革などを推進させ、事業の透明性の向上を図ることを目的とする。
今年度の事業の取組内容	総合計画に基づく地域課題解決に向けた取組について、高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を開催し、専門的見識を有する外部の者から俯瞰的視点に立った助言・提案を受ける。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		高津区地域課題対応事業外部評価懇談会を3回開催し、平成30年度高津区地域課題対応事業について、4事業の外部評価								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	外部評価実施事業数	目標	6	4	/	/	事業	
				実績	6	4	/	/		
	2	活動指標	高津区地域課題対応事業外部評価懇談会開催回数	目標	4	3	1		回	
				実績	4	3	2			
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		評価対象を事務事業から分野全体とそれに関連する事務事業にした。 懇談会も、実施内容から今後の方向性などの意見聴取にし、未来志向の評価にした。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域の課題が多様化・複雑化する中、事業をより一層効率的・効果的に実施することが求められている。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	外部評価を行う中で、前回評価時指摘事項が改善され効果が出ていることが認められている部分がある。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	懇談会の回数や委員の数、評価方法などの見直しができる可能性がある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	方向性	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了 <div style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold; margin: 10px 0;">II</div> 本事業は各地域課題対応事業をより一層効率的・効果的に実施するため、外部の視点を加えて事業評価を行うものであるが、別施策である各区における行政参加の制度の状況によっては、本事業をさらに効率的・効果的に進めることができる可能性があることから、それらの状況を踏まえて懇談会としての実施体制について検討を行う。

令和2年度 地域課題対応事業評価シート(高津区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	05	26	40	20	高津区区民生活に関わるニーズ調査事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			671650		まちづくり推進部企画課		堤	64122	

事業の概要										
事業の概要		高津区の次年度以降の事業計画等において、区民ニーズ、必要性及び緊急性が高い課題等に対応する事業を効果的・重点的に実施するため、「区民がどのような施策・事業を執行してほしいと思っているのか」、「高津区で実施している施策・事業が区民にどのように評価されているか」等を調査する。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業費					
		平成18年度	—							
地域の課題と現状		地域が抱える課題については、多様化・複雑化が進んでいる状況にあり、こうした状況に対応するため、区民が日々の暮らしの中で感じる課題やニーズを把握し、より効果的・効率的に区役所の事業を実施することにより、地域の課題解決を図っていく必要がある。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	事業費					2,105	1,872		
		国庫支出金								
市債										
	その他特財									
	一般財源					2,105	1,872			

計画 (Plan)	
事業の目的	高津区の次年度以降の事業計画等において、区民ニーズ、必要性及び緊急性が高い課題等に対応する事業を効果的・重点的に実施することを目的とする。
今年度の事業の取組内容	主に次のような内容を調査項目として調査を実施する。 (1) 区民がどのような施策・事業を行ってみたいと考えているか。 (2) どのような手法でニーズを達成してみたいと考えているか。 (3) 高津区地域課題対応事業の認知度

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		区が所管する事業について、区民ニーズを的確に把握し、効率的・効果的に執行するため、「区民がどのような施策・事業を実施してほしいと思っているのか」、「高津区で実施している施策・事業がどの程度認知・評価されているのか」などについて、高津区民2,000人を対象としたアンケート調査を実施した。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
		1	成果指標	回収率	目標			50		%
					実績			54		
		2			目標					
実績										
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		地域の課題が多様化・複雑化する中で、事業を効率的・効果的に執行していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民のニーズを把握し、事業を効率的・効果的に実施していくためには、区民に対するアンケートの実施は有効な手段の一つであるため。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	今回のアンケート結果を活用し、事業の改善や川崎市総合計画第3期実施計画を策定するのは令和3年度以降であるため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	報告書(概要版)のページ数を減らし経費を削減することは可能であるため。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	区民のニーズを把握し、事業を効率的・効果的に実施していくためには、区民に対するアンケートの実施は有効な手段の一つであるため、引き続き、報告書のページ数を見直す等しながら、区民に対するアンケート調査を実施する(次回は川崎市総合計画第3期実施計画の策定に合わせ、令和6年度に実施予定)。